



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2018
12月号
No.—524



—生誕100年—

いわさき ちひろ、絵描きです

と き／11月16日(金)～12月25日(火) 10:00AM～8:00PM
ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休)
J R京都駅ビル京都伊勢丹7F隣接 ☎075-352-1111

今月15日に生誕100年を迎えるいわさきちひろ(岩崎千尋)は、1918年福井県武生市に生まれた。画家を志して東京で岡田三郎助に師事する。結婚後満州に渡るが夫の自死を機に帰国。中谷泰に師事して再び絵筆を握る。1944年女子義勇隊に同行して中国に赴くが戦況悪化のため帰国。疎開先の松本で共産党に入党、丸木俊に師事する。1949年に松本善明と結婚。紙芝居『お母さんの話』を描き、翌年に文部大臣賞を受賞した。その後は弁護士(のち国会議員)を目指す夫を支えて、雑誌や教科書のカットや挿絵を描き糊口を凌いだ。54年朝日広告准グランプリを受賞、56年から福音館書店の月刊絵本シリーズ『こどものとも』に描いた挿絵『ひとりできるよ』が初の絵本となった。68年の『あめのひのおるすばん』出版以降、ほぼ毎年のように新しい絵本を制作。1972年の『ことりのくるひ』はボローニャ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞した。その後もちひろは「子どもの幸せと平和」を願い、数々の著作を重ねたが、1974年8月に病没した。享年55。

本展では絵本、挿絵、カレンダーなど、様々な資料を交えて展示することにより、童画家としてのちひろのイメージの刷新を試みている。



「ハマヒルガオと少女」
1950年代半ば 油彩



「蠟石の絵と子どもたち」
1960年『あいうえおのほん』
童心社

《ご報告》

京都文化博物館開館30周年記念／京都画廊連合会主催シンポジウム

「文化庁は京都に何を求め、京都は文化庁に何を求めるのか？」

平成30年10月3日(水曜日)午後6:30～8:30 京都文化博物館・別館ホール

京都画廊連合会主催初のシンポジウムは、京都文化博物館別館ホール(定員200名)満席の聴衆の方々にご参加いただき、成功裡に終了させて頂きましたことをご報告させていただきます。共催のご協力を頂きました京都文化博物館、後援頂いた京都府と京都市、またご協力頂いた文化庁地域文化創成本部、及びパネリストの方々、また当日ご参加頂きました大勢の皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

当日ご参加されました多くの方々から会場の音響効果の不備などによる発言の聞き取り難さのご指摘を受けましたが、概ね好評のアンケートを頂戴いたしました。短い時間制約の下、大きな命題をより掘り下げる討論を行えなかったこと、会場の方々からの質問や応答のための時間も取れなかったことなど、今後の改良点も見えてきました。今話題の文化庁移転をメインテーマに据えたことは、文化とは何か、また文化庁の存在意義などについて皆様方に改めてお考えいただく機会にもなったのではないのでしょうか。最近京都各所で同様のシンポジウムが開催されています。今回の催しがそれらの端緒になったのではないかと自負しております。

当日ご参加いただきました200名のご参加者のうち、98名の方々からアンケートにお答えいただきました。その貴重なご意見や感想から抜粋して3頁に記載いたします。

京都画廊連合会会長 金子勝二(ギャラリー正観堂)



会場	日曜	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	31月				
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	京都文化庁プロジェクト連携事業・明治150年 伝統と創生の美(仮称) - 京都府無形文化財保持者を中心に -																																		
	3F	祇園祭 - 八幡山の名宝 - (~1/14)																																		
	4F	次回特別展 Kyoto Art for Tomorrow 2019 - 京都府新鋭選抜展 - (1/19~2/3) 北野天満宮 信仰と名宝 - 天神さんの源流 - (2/23~4/14)																																		
	5F	第86回 独立展				第103回 表展 (表装展覧会)				第16回 京都現代写真作家展 受賞者記念展				第27回 帆の会展				年末年始休館 →1/4																		
	6F	韓国の手 仕事 ポジャギ				落語 会				イベント																										
	別館	貴久樹 天竺展				シャドーボックス展 「京都で紡ぐ」				音楽 会				音楽 会				THE GIFT BOX2019				音楽 会				音楽 会										
京都学・歴彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831																	村田陶苑展 (~3月10日) 休館日: 祝日、第2水曜日										年末年始休館 →1/4									

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	(3F)	没後50年 藤田嗣治展 (月曜休館)												休館	第5回 コレクション展 (~3/3 常設展) (25日休館)						年末年始休館															
	(4F)	国画創作協会創立100周年関連作品/ 没後50年 マルセル・デュシャン特集																																		
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	庭園のみ開館 (月曜休館)												休館	新春特集展示「まづしー干支を愛でる」 特集展示「京の冬景色」 特集展示「美麗を極める中国陶磁」						年末年始休館																
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館。)												改組新 第5回日展京都展 (日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書) (1月12日まで 月曜休館、ただし24日は開館)						年末年始休館																
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	ハクの会 作家展			ザ・スペース展 第37回 (美工総合)			大洋展 (洋画)			公募京都現代水墨選抜展 (墨彩画)			年末年始休館																						
	2F	18水月 会書展			アルケ展 (美術総合)			第10回はてなし会 (洋画)			畝展 (日本画)																									
	3F				第3回京都大学 書道部OB展																															
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	漆軒と印象 明治生まれの堂本兄弟・うるしと日本画の競演 (~3/17)												京都現代作家展9 鶴岡雅樹 絵画の手触り-マチエール考- (~1/27)						年末年始休館																	
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	ドアノーの愛した街パリ「ROBERT DOISNEAU」展 (月曜休館) (12/28~1/4 冬期休館)																																			
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	指物師 一瀬小兵衛展			岩田壮平展-拈華- (日本画)			山崎鈴子展-花に尋ねる- (日本画)			画集刊行記念 瀧下和之展 (絵画)			迎春用床飾り展																						
	グランド ホール				神農巖 陶展 -堆磁-			植葉香澄展 (陶芸) -キメラエポリユーション-			柏木円・福森道歩 陶磁器展																									
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	こころ踊るパリParis 山岡康子絵画展			輪島漆芸逸品展			掛軸赤札市			京の中古道具市			金丸悠児絵画展																						
	アート サロン	干支と聖夜の おくりもの			藤田哲也日本画展			渡部香洋画展			アートクリアランス			アートクリアランス																						
	ミュージアム																																			
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	石本正のアトリエより -ロマネスク素描紀行- (月曜休館)																																			
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	開館15周年記念 秋季特別展 並河靖之-心の七宝												休館																							
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	生誕100年 いわさきちひろ、絵描きです。 (会期中無休)																																			
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	加藤雅晴展 (平面) (火曜休廊)												ゆら個展 (水彩) ~山野草を描く~ 森和男 植物資料展 (写真など)						鍋島正一と弟子たち展 (平面)						休廊										
	2F																																			
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	休廊			MEISEIセレクション 日本画			石田翔太日本画展 発色/フラクタル/エントロピー			休廊			和紙画展 紙とあそぶ (24日休廊)			冬期休廊																				
アートスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353	常設展 (水曜休廊) / 貸画廊受付中																																			
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	教室 陶芸	逸見亞古銅版画展 -移りゆく-												木になるアート作品展 I						冬期休廊																
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805	OSAKA ART FES2018 @梅田Hanshin 会場: 阪神梅田本店												“るーきー”日本画展 会場: 阪神梅田本店																							
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	貸しギャラリー受付中												冬期休廊																							
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設 (貸画廊受付中)																																			
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展示																																			
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	大石早矢香 陶展			休廊			レギーナ・アルテル展 (陶・ガラス) (木曜休廊)						休廊																							
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日祝休廊)												青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙郎・熊谷守一 他						冬期休廊																	
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画・洋画常設展																																			
画廊えんじゅ 東山区三条通古川町東入ル 050-3557-1723	貸画廊受付中																																			

Ⓔ: 企画および常設を中心に活動する画廊 Ⓕ: 貸画廊

アンケートのご報告

(2018年10月3日京都文化博物館別館 参加数200名 回答98名からのご意見抜粋) 文責：星野

- テーマが大きすぎて、時間が足りず物足りない。(50代、会社員、男性)
- 司会者や他のひとたちの話が音響のせいか聞き取れない。(多くの方々)
- 参加者の質問のレスポンス、質疑応答を聞きたかった。(30代、会社員、女性)
- 文化庁に対する期待はあるが、具体性が殆ど見えてこない。(70代、自営業、男性)
- ルーブルなどで学生たちにホンモノの絵の複製スケッチを許したりしている、文化の差か。文化財の保存だけでなく、ホンモノをいかに見せるか。(70代、自営業、男性)
- 文化庁が入場料収入や集客に重きを置くのは間違っていると思う。しっかり文化財の保護・保全をしてほしい。高松塚のようなことは2度と起きないでほしい。今まで東京中心であった文化行政が関西・西日本に来るのは意義があると思う。(60代、会社員、男性)
- 府の立場と国の立場は違う、文化庁も日本全体のために何をするのかなと考える立場、府の理解はおかしく(仕方ないか)、影響されないようにして欲しい。(60代、公務員、男性)
- 東文研で江戸落語のデータベースを作っている、東近美のフィルムセンターは映画のデータベースが充実している、文博の映画データベースはまだまだだし、関西の落語のデータベースはほとんど無だと思う。これが東京中心の文化行政です。やっと関西や西日本に目を向けて来たが、遅い感じ。(60代、公務員、男性)
- 何でも効率化中心の今の文化行政は間違っている。(50代、会社員、女性)
- 文化行政に日本会議がかかわるのがコワイ。(60代、公務員、男性)
- 文化庁長官と文部科学大臣と同格か？時の内閣と直接関係がないのか？複製品と文化財との関係の話があったが、佛像様は常にしまってあって価値のあるものなので、文化財によってしまうのかしまわないのか、文化財の展示は機会充実に対処してもらいたい。(80代、主婦)
- 文化庁の京都移転は、京都だけの話ではなく、地方の文化を守り、発展させるのかの視点が重要だ。(70代、無職、男性)
- 文化に親しむには、精神的、経済的な余裕が必要と思う。市の文化行政は、金もうけ第一主義であり、美術館に寄贈された作品を大切にしているとは思えない。文化は生活に密着している、上から目線では理解されるとは思えない。(70代、無職、男性)
- 文化は広範囲！シンポジウムの出席者が「きたんのない意見交換」意義があった。文化庁が京都に移った機会に今一度地方も視野に入れて頑張って頂きたい。(80、無職、男性)
- 政治的、現代の話が多く、文化とは？をもう少し掘り下げた話を聞きたかった。若い人たちのパネリスト参加もあればよかった。(50代、自由業、男性)
- 文化庁の方の生の声を聞くことができ、多くの気づきと実りがありました。あと京都の人の方々の意見もおもしろく楽しめました。(40代、会社員、女性)
- 文化庁について、今回少しではあるが、改めて考える機会になった。(40代、女性)
- 決して文化を経済化してはいけない。若い人達を支えてあげなければ育たないが、若い人達の作品をイージーに売ると若い作家の勘違いが起こる。(70代、自由業、女性)
- 東京一極集中の中、日本文化は京都だけでなく、他の地方文化も含め、京都に文化庁が来ることは賛成ですが、何か将来像が見えて来ない話で、少しガッカリしました。(70代、主婦)
- テーマの「文化庁が京都に何を求めているのか」、聞いていても分からなかった。(70代、無職、男性)
- 文化庁(国)の文化財(芸術品)の活用と地域(京都)の活用に対する対応の差(考え)が大きい。(80代、公益法人役員、男性)
- 今日の内容は文化財など、「既にある物」の活用についての話が多かったが、京都人は、実際とても新しもん好きで好奇心旺盛な一面を持っていて、それがこの街の原動力になっていることにも触れたディスカッションが聞きたかったです。(50代、作家、女性)
- 文化庁とは？！文化とは？をもっと多角的に深く広く知らしめていただくためにも、何度か企画していただきたい！(60代、主婦)
- 文化は精神性の中から生まれてくるのではないのでしょうか。文化は教育に通じるものだと思います。(70代、無職、男性)
- 結論は出ないと思うが、やはり「文化庁移転問題」だけではなく、日本人の文化意識の問題と、文化とは何か？と、政治との関係など根深いものがあるので、今後どうしたら日本人の分会式が高まるか、文化にたずさわる人が増えるかなど問題を一つずつ解決して行きたい。(60代、女性)

村田茂樹展 ～アトリエに残されたもの～

と き/11月29日(木)～12月12日(水) 10:00AM～6:00PM
と ころ/村田画廊 (会期中無休)
京都市左京区松ヶ崎泉川町18-4 ☎075-703-8960

「いらっしゃい、どうぞ」と平机にキリッと座した先生に勧められ対座すると「おそかったな」と切り出されたのは、1982年春初めて二階のアトリエに入った時のことでした。

数年前から竹内浩一先生を通してお互いのことはよく知ってはいたのですがお会いする機会が無かったからです。しかしすぐに意気投合し作画姿勢や団体展の在り方などありとあらゆる話をいたしました。公私に亘り頼もしい良き兄貴のような存在でした。

対象物を丁寧に捉え、あまり書き加えることも省くこともなくそのものの生命観や力強さを引き出している。細部にまで描き込まれた作品は、精緻であり静かに心に沁みこみます。惜しくも今年7月に72歳亡くなった先生の未発表の作品展を開催いたします。どうぞご覧いただきたくご案内もうしあげます。

村田一雄



「丹後神崎の波」4号

村田茂樹 略歴

- 1946年 京都に生まれる
- 1966年 京都市立日吉ヶ丘高校日本画科卒業
- 1970年 新制作協会春季展受賞
- 1972年 第16回シェル美術賞展佳作受賞
- 1983年 第7回山種美術館大賞展招待出品 ('85 '87 '89)
- 1984年 研究グループ「横の会」結成第1回展開催 (～第10回迄)
- 1985年 京都日本画秀作展出品 (～'86)
- 2009年 第1回「京都日本画新展」審査 (～'13) 及び賛助出品 (～'18)
- 2018年 没。

個展：小さな駅をテーマに'78/花をテーマに'82/中国をテーマに'90/魚をテーマに'94/手をテーマに'95/石をテーマに'96/オリーブをテーマに'97/野菜をテーマに'98/きいろい花をテーマに'00/アンネのバラをテーマに'01/ホロコーストの遺品をテーマに'05/雪山をテーマに'07/郷土人形をテーマに'09

他 個展多数



「丹後節句人形」3号



「水無月」3号

ドアノアの愛した街パリ ROBERT DOISNEAU 展

と き/11月1日(木)～2019年1月20日(日)(12/28～1/4は冬季休館)
と ころ/何必館・京都現代美術館 (月曜休館 但し、12/24、1/14は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「ドアノアの愛した街パリ ROBERT DOISNEAU 展」を開催いたします。

ロベール・ドアノアは世界で最も人気のある20世紀を代表する写真家です。パリ郊外のジョンティイに生まれ、石版画を学んだ後、18歳頃より本格的に写真の世界に入ります。雑誌『ヴォーグ』や『ライフ』などに写真を提供し、短編映画の制作に携わる傍ら、生涯に渡りパリとパリに生きる人々を撮影し続けました。雑踏の中を自由に歩き廻りとらえた数々の情景は、ドアノアの持つ洗練されたエスプリとユーモアで鮮明に写しだされています。カメラという機械を感じさせない彼の写真は、まるで一瞬のドアノア自身のまばたきであるようです。「写真は創るものではなく、探すものだ」というドアノアの言葉の中に、数々の作品を生み出していった彼の確たる姿勢が感じられます。

本展は、何必館コレクションの中から、「子供達」「恋人」「酒場」「街路」「芸術家」の5つのテーマで構成し、サイン入りオリジナルプリント約60点の作品を展覧いたします。

記念出版

「ロベール・ドアノア 写真集」
3,200円

主催 公益財団法人
京都現代美術財団



「市役所前のキス」1950年

レギーナ・アルテール展 REGINA ALTHERR CERAMIC & GLASS EXHIBITION

と き/12月7日(金)～12月26日(水) 10:00AM～6:30PM
と ころ/ギャラリーソフォラ (木曜定休) ☎075-211-5552
京都市中京区二条通寺町東入ル延寿堂ビル1階

故郷のスイスと日本を往来しながら制作を続けられるレギーナさん。匂い立つばかりの美しいスイスの景色の中で育まれた、豊かな感性によって生み出された作品群が、5年振りのSophoraに溢れます。

その表現方法は陶芸だけにとどまらず、エッチングのようにガラスの表面を削りながら描かれた愛らしい器や作品も並びます。

本年最後を飾る、レギーナ・アルテール展を是非お楽しみください。

【在廊日】12/7・8・9・15・16・22・23・24・26
13時30分～在廊予定です



中村勇太小品展

と き／12月2日(日)～12月9日(日) 11：00AM～7：00PM
ところ／後素堂 (最終日：～4：00PM)
京都市中京区新町丸太町下ル ☎075-231-0938

時の流れと共に移ろいながら、それでも変わらずに在り続ける生命の輝きや儂さ。力強くも優しく、温かい植物たちに魅了されてなりません。

この度は、現代における人々と植物との関わり・植物とをテーマにした小品中心の展覧会となっております。ぜひ、ご高覧頂きたく、ご案内申し上げます。

中村勇太 Nakamura Yuta

浜松市出身。京都市立芸術大学を卒業後、京都西陣の京繻工房にて職人の卓越した技術を肌で感じ、日本の伝統的な図案・文様を学びながら自身の制作活動を行なっている。また、現在は植物画のオーダー制作にも積極的に取り組んでいる。

—略歴—

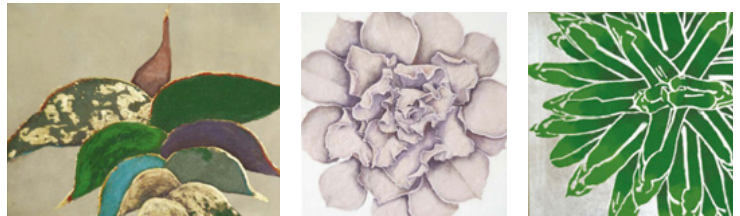
- 1992 静岡県浜松市に生まれる
- 2011 静岡県立浜松江之島高等学校芸術科美術コース卒業
- 2016 京都市立芸術大学美術学部日本画専攻卒業

—主な展示—

- 2014 碧い石見の芸術祭2014 全国大学奨学日本画展 (三隅中央会館・鳥根)
- 2015 京都市立芸術大学作品展2014 (京都市美術館・本館・京都)
- 2018 第11回プラチナアート大賞展2018 (日展新会館・東京)

—講師—

- 画箋堂本店 こども造形教室 ('13、'14)
- 京都市立福西小学校 美術教室 ('13、'15)
- 島本町人権文化センター 夏休みアート教室 ('15～)



武田直之 陶展 ～永久に咲く色～

と き／11月30日(金)～12月12日(水) 10：00AM～6：00PM
ところ／京都陶磁器会館2Fギャラリー (木曜休館)

武田直之さんは、主に手捻りで成形されたフォルムに複数の色化粧を重ねることにより、豊かな色調の作品をつくられます。

武田さんは、日頃から草花を愛でられて、その感動とご自身の心象風景を重ね合わせて作品のイメージを考えられます。そして、それを具現化するために、手捻りでフォルムをつくれ、そこに数種類の色化粧を幾重にも重ねることで、爽やかでありながら奥深い色調を創り出されます。儂く色あせてしまう草花の色彩や、その感動を朽ちることのない「陶」へと昇華されます。

本展では、大作のほか器なども展覧いたします。武田さんの、永久に咲く色の世界をお楽しみ下さいませ。

武田直之 陶歴

- 1979年 大阪府に生まれる
- 2001年 高野山大学文学部 卒業
- 2004年 宮下善爾氏に師事
- 2008年 大阪芸術大学芸術学部 卒業
- 2010年 独立「陶房 陶匠志」設立
- 2012年 光風会展「光風奨励賞」受賞 ('13「京都新聞社賞」'14年「京都新聞賞」)
- 2013年 全関西美術展「全関西美術展賞第三席」受賞 ('14年・'18年「同賞受賞」)
- 大阪工芸展「大阪府知事賞」受賞 ('14年「大阪工芸大賞」'15年「奨励賞」'17年・'18年審査員)
- 2014年 改組新日展 入選 ('15年)
- 2017年 泉佐野市展 審査員(同'18年)
- 2018年 京都工芸美術展(於：中国・上海 劉海粟美術館)
- 現在 創工会会員・京都工芸美術作家協会会員・大阪工芸協会

「いざない」



中村譲司 陶展 ～器の佇まい～

と き／12月14日(金)～12月26日(水) 10：00AM～6：00PM
京都市東山区東大路五条上ル ☎075-541-1102

中村譲司さんは、オブジェに器と幅広く制作される作家さんですが、最近では特に茶器などで高い評価を得ておられます。日本の居住空間は、独自の気候や文化の中でめまぐるしく変化し、それに伴ってインテリアも変化し続けています。中村さんは器もインテリアの一部と考え、それが使われる空間を意識して作陶されています。

そのような意識と国内外で積まれた研鑽は、しっとりした釉薬の肌や凛とした造形などの佇まいに宿っています。

本展では茶器を中心に展覧いたします。中村さんの「器の佇まい」の世界をお楽しみ下さいませ。

中村譲司 陶歴

- 1981年 大阪府生まれ
- 2003年 京都精華大学芸術学部造形学科陶芸専攻卒業
河島浩三、喜信氏に師事
- 2012年 G-studio設立
第24回工芸美術創工会展(京都文化博物館：京都) 京都府知事賞
- 2013年 京展(京都市美術館：京都) 京展賞
- 2018年 第3回日本陶磁協会奨励賞関西展(京セラ美術館：京都) 奨励賞
- コレクション：世界のタイル博物館／市の倉さかざき美術館／法然院／ファエンツァ国際陶芸美術館

「白翠結晶急須」(左)



「胡桃彩急須」(右)

—私風景 心のままに— 中井一男個展

と き／12月4日(火)～12月9日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／ギャリエヤマシタ二号館1F
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-6505

制作を続けて50年…。

今回は古稀の展覧会となりました。何度も訪れた思い出のスペインやイタリアの風景と共に身近のものたちを描いた作品を展示します。

何卒、御高覧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

略歴

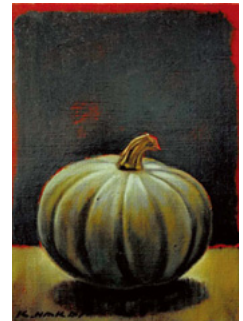
- 1948年 京都市生まれ
- 1971年 京都精華短期大学(現清華大学)美術科卒業
- 1979年 関西一陽展・神戸市長賞受賞
- 1981年 汎具象美術協会創立に参加、会員となる。(2006年退会)
- 1990年 京都文化博物館 現代美術・工芸展
- 1992年 京都市美術館 美術選抜展
- 2002年 第21回汎具象展・文部科学大臣賞受賞
『いますぐ描きたくなる水彩画』(淡交社) 監修・出版
- 2007年 第59回三軌会展・新人賞
- 2010年 第62回三軌会展・三軌会員賞
- 2012年 第64回三軌会展・損保ジャパン美術財団賞受賞
- 現在 葉師山美術研究所代表、日本美術連盟会員、三軌会会員・西日本絵画部代表



〔朝の広場(ベネチア)〕 F15号



〔舟だより〕 F8号



〔南瓜〕 F4号

e・g・g・o 0066 山影広野 日本画展
COSMOLOGY III

と き／12月6日(木)～12月15日(土) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂／1F・2F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

天然の鉱物によって作り出される岩絵具を用いて“宇宙”という大きなスケールをテーマに、ダイナミックで豊かな表現を画面いっぱいに拡げる山影広野。壮大な空間が描かれた作品を前にすると、まるで絵という宇宙に吸い込まれるような感覚を体験できます。この機会にぜひ高覧下さいませ。

〔展覧会に向けたコメント〕

この度、約3年ぶりに大雅堂にて個展を開催いたします。

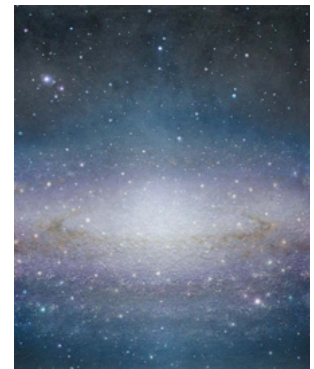
今回の展覧会名である『COSMOLOGY』とは、『宇宙論』という意味です。宇宙論とは、宇宙の起源や構造を研究する学問のことです。天然岩絵具の原料は鉱物です。鉱物には様々な宇宙の痕跡が内包されています。天然岩絵具を用いて宇宙を制作する行為は、いわば宇宙との対話であり、作品は私にとっての宇宙論ともいえます。本展は、個展『COSMOLOGY』シリーズの第3回目となります。画面から溢れ出る、時空間の流れを感じていただければ幸いです。

〔日頃の制作のモチーフやコメント〕

岩絵具とはなにか。それは、天然の鉱物や貴石によって精製された絵具である。そして、それらは、宇宙の創造によって誕生した神秘である。岩絵具の起源はこうした138億年の刻に遡ることができる。悠久の時間を記憶した、岩絵具で、壮大な宇宙空間を描きたい。

【山影広野 略歴】

- 1991年 滋賀県生まれ
- 2014年 京都造形芸術大学 美術工芸学科 日本画コース 卒業
- 2016年 京都造形芸術大学大学院 修士課程 芸術表現専攻 ペインティング領域 修了
- 2012年 公募-日本の絵画2012 千住博賞受賞(永井画廊/東京)
- 2014年 2013年度京都造形芸術大学卒業展/大学院修了展 学科賞受賞
第32回明日をひらく絵画上野の森美術館大賞展 賞候補(上野の森美術館/東京)
公募-日本の絵画2014 佳作賞受賞(永井画廊/東京)
- 2015年 第33回明日をひらく絵画上野の森美術館大賞展 賞候補(上野の森美術館/東京)
- 2016年 京都造形芸術大学大学院修了制作展(京都造形芸術大学)
日本画家 山影広野 宇宙-Cosmos-(日本橋三越本店 + ART art goods store /東京)
第一回 枕崎国際芸術展 入選(枕崎市文化資料センター南浜館/鹿児島)
- 2017年 COSMOLOGY II 山影広野 日本画展(あべのハルカス近鉄本店 アートギャラリー)
山影広野展-宇宙のかけら-(ジェイアール名古屋タカシマヤ美術画廊/愛知)
千住博と銀河のスターダム(近鉄百貨店奈良店 美術画廊/奈良)
- 2018年 銀河の会「千住博と若い芽たち 絵画展Ⅶ」(あべのハルカス近鉄本店 美術画廊)



〔Princess〕 F100号

		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月
企	画廊 きよみず	日本画常設展																															
	東山区清水五条坂 525-2062																																
企	画廊 後素堂	中村勇太小品展 "#plants" (会期中無休)																															
	中京区新町丸太町下ル 231-0938																																
企	画廊 たづ	日本画常設展 (日祝休廊)																															
	東山区神宮道三条西入ル 771-8225																																
貸	ぞおんギャラリー八坂	「たけの世界展」 河村武明	A-KEY Harmony 天然石と花のインテリアアート 田中重紀子					The Anecdote 写実的表現・人物画 李 在善																									
	東山区祇園町南側 525-1717																																
貸	ギャラリー 梧桐	田口友香日本画展 (11/30~) 「夜の顔」																															
	左京区岡崎南橋所町40 090-7849-6944																																
貸	ギャラリー M	この一年を振り返るドバイの旅と音楽展 松本祐佳										クリスマスイラストとヨーロッパ中東旅展 松本祐佳										冬期休廊											
	中京区錦雲師高倉西 221-0979																																
貸	ギャラリーカト	1F おかだ美保 個展											HaDeNa展					以降廃業します															
	中京区寺町御池下ル 231-7813	2F	石川清幸展 in KYOTO										富永隼人個展																				
貸	ギャラリーかもがわ																神門やす子展 -黒と遊ぶXIV- (~2019年1月25日)					年末年始休廊											
	上京区堀川出水西入 432-3558																																
貸	ギャラリー祇園小舎	森と風の 作品展	石田とおる 油絵展					中嶋紫都 作品展					AnnaMagic 祇園展																				
	東山区四条通繩手東入 551-3828																																
貸	ギャラリー吉象堂	鴻楽会 展					第35回 銅版画 グループ遊展					立命館大学 写真部冬展					信楽焼 水垣力 陶展																
	中京区三条柳馬場東 221-3955																																
貸	ギャラリー Create 洛	青木秀明 展 (日本画)	宮本英雄展 (洋画)					飯村君江展 (洋画)					冬期休廊																				
	中京区丸太町通堺町角 708-7898																																
企	Gallery G-77	常設展																															
	小川通丸太町下ル 090-9419-2326																																
貸	ギャラリー K																																
	中京区寺町二条下ル西側 255-7518																																
貸	ギャラリー 恵風	1F 天狗神仏・ 福徳神守二展	磯部茂亀展 (平面)					吉原拓弥展 (平面)					若林静香展 (平面)					冬期休廊															
	左京区丸太町東大路東入 771-1011	2F 馬淵哲展 (平面)											クリスマスセレクション展 (平面) 監物紗羅・西川礼華・三橋卓・むらたちひろ (月曜休廊)																				
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜		土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	
貸	ギャラリー 佐野	「二人の二宮展」 -レザーとアクリル-					「紙の昆虫展」(会期中無休) 紙技工房 斎藤卓治・齋藤健輔					冬期休廊																					
	中京区寺町錦雲師西北角 221-2767																																
企	ギャラリー三条祇園																																
	中京区寺町通御池上ル 221-6401																																
企	ざらりい 思文閣	入礼会下見会																															
	東山区古門前大和大路東入 761-0001																																
企	ギャラリー 白川	舟越桂版画コレクション展 (月曜休み)																															
	東山安井東一筋目南 532-2616																																
貸	ギャラリー 翔	クリスマス小品展 (絵画・彫刻他) (月曜休廊)										もうすぐお正月展 (陶器・染色・木工他) (17日休廊)										年末休廊											
	左京区北山通下鴨中通東 724-8154																																
貸	ギャラリー 16	松尾直樹展 (月曜休廊) 「Living Thing 3018」(絵画) 12/2 15:00-16:15ギャラリートーク					眺望をつむぐ 越田博文展 (絵画) (月曜休廊)										冬期休廊																
	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238																																
企	ギャラリー 創	日本画・洋画・古書画常設展																															
	中京区河原町御池上ル 251-0522																																
貸	ギャラリー 象鯨	貸ギャラリー受付中																															
	中京区姉小路柳馬場東 253-0738																																
貸	ギャラリー TAJIRO	動物絵師 竹馬個展	大人手 から 絵画 整理	異界絵師 緋呂 「龍の箱庭展」					プライベートでの 展覧会ご利用					大人手 から 絵画 整理																			
	東山区錦手通新橋下ル 0774-27-1733																																
貸	ギャラリー Little House	建築家と 匠展	Pinkjack Xmas展					「Gift」					はんどめいと集合					年末休廊															
	下京区室町四条下ル 090-9977-1559																																
企	ギャラリー 鉄齋堂	常設展																															
	東山区新門前東山西 531-6164																																
貸	ギャラリー 富小路	九十九伸一 「ティンプリズム2018」 in kyoto																															
	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576																																
企	ギャラリー なかむら	中原史雄展 (洋画) (月曜休廊)																															
	中京区姉小路河原町東 231-6632																																
貸	ギャラリー 中井	高崎洋祐展 (月曜休廊)					「わがい」京のかたち 今日のかたち それから… 京都神仏具金物工業協同組合					つれづれ4人展 光風会有志					休廊																
	中京区木履町三条上ル 211-1253																																
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子 ガラス作品展																															
	北区北野上白梅町63 461-0427																																
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F 廣田政生 展 (独立)	木下晋展 (鉛筆画)					池田良則展 (油彩) -風の中のサウダーデー-					クリスマスプレゼント 展 (平面・立体の楽しい小品)					年末年始休廊															
	中京区寺町三条上ル 231-3702	2F 第2回 七人力展	長谷川純・雄二人展																														
企	ギャラリー 美楽堂	日本画常設展																							冬期休廊								
	東山区神宮道三条上ル 761-9710																																

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
				土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月								
貸	企	ギャラリー-マロニエ		3F	梅澤幸 山中隆平展 京府		岩田貴久子 平面													京都写真展		冬期休廊					→1/14															
		河原町四条上ル東側 221-0117		4F	Rita Turmen Out Sarkisowski テキスタイル・陶芸		マロニエの壁画 平面		How are you photography? (写真)																																	
				5F	中川裕孝 テキスタイル		織 (NUD) 展 テキスタイル																																			
貸		ギャラリー-みすや		中京区三条河原町西入 211-5997		バーチメント フラット 大嶋寛子 アトリエfunfun		土陶会 洋画 (油彩・水彩) (パステル)		服部みつえ 織・フェルト・染																																
企	貸	ギャラリー-唯		左京区岡崎神宮道東側 752-0348		陣七海 世界で唯一のつづの密地バッグ展		フェルト・フェルト・ガラス展 (月曜休廊) IZZOMI フェルトのかばん・洋服・ブローチ / 空飛ぶ羊 モンゴルフェルトの靴下・鞆など アキノ・ヨーコ レース模様のガラス (ガラス・ぐい呑み など)																休廊																		
企	貸	ギャラリー-洛中洛外		山科区清水焼団地内 595-5450		陶芸作品常設展																																				
企	貸	ギャラリー-龍馬		河原町三条下ル東入 211-7700		休廊		龍馬と酔屋 常設展 (水曜休廊)																																		
企	貸	ギャラリー-正観堂		東山区切通新門前上ル 533-4110		林屋拓壽 日本画展					休廊					小山智徳 織部展 (19日休廊)					年末年始休廊											→1/9										
企	貸	ギャラリー-宮脇		中京区寺町二条上ル 231-2321		THE ESSENCE (日・月休み) 黒崎彰・山下壮・宮川隆・鴻池朋子・黒須英雄・谷本光隆											常設展					冬期休廊																				
企	貸	ギャラリー-百音 (もね)		左京区岡崎神宮道東側 708-2138		アンティークマイセン カップ&ソーサー or 絵画・工芸品在庫処分 (3日、10日、17日休廊)											冬期休廊																									
貸	企	1号館	ギャラリー ヤマシタ		中京区寺町三条上ル 231-6505		第17回 コロポプラーの会 (絵画)		貝川代三 第17回水彩画展		水浪会展 (水彩)										第2回はでな展 (油絵)																					
					2F		楽しい散歩写真展		グループコスモス洋画展					佛教大学写真研究会					京同展 (絵画など)																							
					1F		茶縁展示会 (絵画)		中井一男個展 私風景・心のまに		ステンドグラス 聖母クラブ作品展					岡村達利織作品展																										
					2F				GEIKONイチサン会 絵画展					京都産業大学写真部					京同展 (絵画など)																							
企	貸	現代美術 艸居		東山区門前大和太路東入 746-4456		ジェニファー・リー陶展 Jennifer Lee																																				
企	貸	京都ギャラリー		中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸ギャラリー受付中																																				
企	貸	京都芸大ギャラリー-アーク		中京区御池通堀川東入 253-1509		京都市立芸術大学 第29回 留学生展																																				
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
				土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月								
企	貸	京都芸術センター		中京区室町蛸薬師下ル 213-1000																																						
企	貸	京都市学校歴史博物館		下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305		開館20周年記念特別展 (水曜休館) 「画題で見る近代の日本画表現」																																				
貸	企	京都写真美術館		東山区神宮道三条上ル 746-2931		1F雪													中西建太郎 (境界)					常設展					冬期休館													
				1F月		59steps 写真展																																				
				2F花		KYOTO FOTO SHOP展																																				
企	貸	京都陶磁器会館		東山区東大路五条上ル 541-1102		1F 森本真二 陶展 (木曜休館)					千支の陶人形展 (木曜休館)											2F 武田直之 陶展 ~永久(とわ)に咲く色~ (木曜休館)					中村讓司 陶展 ~器の佇まい~ (木曜休館)															
貸	企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース		中京区姉小路東洞院東入 254-7902		保事協フォトクラブ 写真展					コーポラルチャートールベイント 生徒作品展																															
貸	企	堺町画廊		中京区堺町御池下ル 213-3636		箱崎竜平陶展		臨時休業					伊藤五美陶展					河野文睿展					もちつき					冬期休廊					→1/13									
貸	企	里見有清堂		中京区堺町三条上ル 221-5423		貸画廊受付中																																				
企	貸	蔵丘洞画廊		中京区御池寺町東入 255-2232		(11/24~) 来野あぢさ日本画展					~13回忌に因み~ 追想・来野月乙展											常設展					冬期休廊					→1/6										
企	貸	大雅堂		東大路通祇園上ル 541-7388		e.g.g.o 0066 山影広野日本画展 COSMOLOGY III																																				
企	貸	梅軒画廊		中京区烏丸四条上ル 221-3510		日本画・洋画常設展 (日祝休廊)																															冬期休廊					→1/4
企	貸	ポルタギャラリー-華		下京区京都駅前地下街 365-7533		ぐり友里展~鉱石と夢世界~					休館					国際交流総合展 特別企画 "作家たちのリリース展"					休館					猫月村 はるとさきりい展					→1/6											
企	貸	星野画廊		東山区神宮道三条上ル 771-3670		作品展 休廊		明治・大正・昭和 名作発掘品展 (日・月休廊)											冬期休廊										→1/7													
企	貸	松本松栄堂		中京区寺町夷川上ル 212-0626		新・古書画常設展																																				
企	貸	村田画廊		左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		村田茂樹展-アトリエに残されたもの- (会期中無休)					常設展 (火・日・祝日休廊)																															
貸	企	ヤマモトギャラリー		中京区姉小路寺町東入 231-2341		貸ギャラリー受付中																																				

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>